

親子交流施設・ふれあいショップの開設で子育て中の親を支援
商店街にも波及効果

特定非営利活動法人 ワーカーズコレクティブさくらんぼ

機関名	特定非営利活動法人 ワーカーズコレクティブさくらんぼ		
所在地	神奈川県横浜市旭区東希望が丘 239-19		
電話番号	045-367-7224		
地域概要	(1)管内人口 124千人	(2)管内商店街数 8商店街	
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数 2商店街	(2)会員数 20商店	
	(3)空店舗率 25%	(4)大型店空き店舗数 0店	
商店街の種類	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成 15 年度 コミュニティ施設活用商店街活性化事業（親子交流施設）

- ・親子交流施設及びチャリティショップの開設、運営
- ・イベントの実施

総事業費 7,090 千円

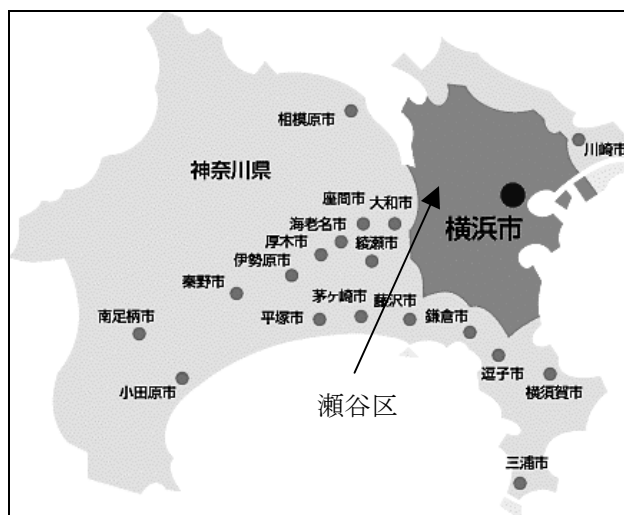
【事業実施内容】

1. 背景

横浜市瀬谷区は市の最西部に位置する南北に細長い地形の区である。区内には 5 本の川が流れており、市内最大の農業専用地区を要するなど、良好な農地や樹林地が多く、自然環境に恵まれている。また、昭和 20 年代後半から公営住宅の相次ぐ建設により宅地化が進行し、人口が急増して郊外の住宅都市として発展してきた。

近年瀬谷駅周辺では、再開発に伴って大型スーパーが進出するなど商業環境が激変している。瀬谷駅前には現在 6 商店街があるものの、店舗経営者の高齢化、店舗の老朽化、競争の激化などを理由に閉店する個店が増加して空き店舗が目につくようになっている。

一方、核家族化の進展や地域コミュニティの喪失から子育て中の親に対する支援が多く望まれている。



横浜市瀬谷区の位置
(横浜市役所の HP より)

特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブさくらんぼ

これらの状況を背景として、親子の交流・集いの場を提供することで子育て支援を行うとともに、商店街との連携を通して商店街活性化の一助となることを目的に本事業に取り組むこととなった。

2. 事業内容

(1) 事業実施者

特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブさくらんぼは、平成14年11月22日にNPOの認証を受けた正会員数22名、賛助会員数23名の団体である。横浜保育室「ネスト」、「ネスト瀬谷」の設置運営を行うとともに子育て講演会の企画や親子ルーム・幼児教室を運営しており、地域に根付いた子育て支援を行う団体として活動している。

(2) 事業概要

①ひろば事業

「ひろば まんま」を開設して、主に乳幼児（0～3歳）をもつ子育て中の親と子どもを対象に、子育て不安の解消を図るための事業を実施した。

平日の午前10時～午後4時まで開所している。

1) 事業内容

- ・子育て中の親と子どもの交流、集いの場の提供

施設内に「授乳&おむつ替えコーナー」、「おもちゃ&絵本コーナー」、「情報&ティータイムコーナー」、「勉強会&ゆんたく（おしゃべり）コーナー」の4コーナーを設け、親と子どもの居場所を提供するとともに来所者同士の交流を図れる場を提供した。

- ・子育てアドバイザーによる相談会の開催

週に一度子育て相談やおっぱい相談、小児科医によるアレルギーと食の話等のプログラムを有料で開催した。

- ・地域の子育て関連情報の提供



ひろばの様子



情報コーナー

特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブさくらんぼ

2) 利用料金

「ひろばを維持するためのお金」として利用者から料金を徴収した。

会員	入会金	¥1,000	兄弟で入会の場合、2人目以降は不要
	年会費	¥1,200	毎年4月に更新
	フリーパス	¥2,000	1ヶ月間有効
	回数券	¥1,500	5回券、3ヶ月間有効
ビジター券		¥500	入会金・年会費不要
プレママ券		¥200	入会金・年会費不要

他にプログラム開催の際に下記の料金を徴収した。

プログラム名	会員料金	非会員料金
子育て相談	無料	¥100
工作	¥50	¥100
ストレッチ&シェイプ体操	¥300	¥400
おっぱい相談	¥500	¥700
アレルギーと食	¥700	¥1,000

3) 利用実績

1日平均利用者数 6組

1ヶ月の利用者数 2月：139人 3月：124人

② ショップ事業

「チャリティー&ふれあいショップ まんま」を開店し、施設の維持管理費に充てるため「ひろば まんま」の利用者等から子ども服等の無償提供を受けてリサイクル販売を行った。同時にショップの利用者から地域の情報を収集したりするなどの情報交換の場としても活用した。また、27個のレンタル棚を希望者に貸し出し、棚の賃料(1,500円～3,500円)と売上の5%を徴収した。



ショップ内の様子

2月6日にオープンし、営業日数は37日でリサイクル品の売上は24万5,185円で(6,626円/日)、レンタル棚の収入は2万6,750円であった。

③ 商店街連携事業

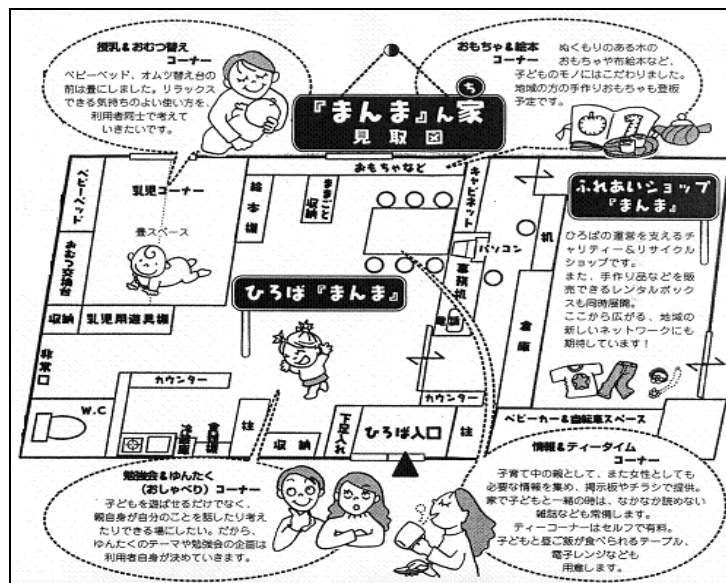
瀬谷駅南口商店街との共同企画で、「ひな祭りイベント」を実施した。

1) イベントの内容

- ・商店街スタンプラリー：参加者にスタンプカードを発行し、各商店に立ち寄ってスタンプを集め、すべて集めた参加者に景品を贈呈した。参加者は35名であった。
- ・やきそば、とん汁、磯辺焼等の販売：用意した100食分が完売となった。
- ・なりきり写真館：参加した子どもに衣装を着せ、デジタルカメラで撮影した画像をうちわにプリントして贈呈した。参加者は18名であった。

(3) 施設概要

商店街内の空き店舗を改装して、約 30 坪の面積の中に交流スペースとショップスペース、事務スペースを設けた。



「まんま」見取り図

(4) 運営体制

- ・スタッフ ひろばスタッフ：3名配置（5名によるローテーション制）
ショップスタッフ：1名配置（21名によるローテーション制）
- ・専任アドバイザー 短期大学名誉教授および助産師
- ・プログラム講師 小児科医、ダンサー、アロマセラピスト、看護師、保育士等

【 効 果 】

(事業別効果)

1. ひろば事業

訪れる親がホッと一息つきながら同じ子育て中の親と語り、昼食を食べたりするような楽しい雰囲気を提供することができた。また、顔なじみが増えたことから、ボランティア希望者も増えており、利用者と応援者の輪が地域に広がってきつつある。

2. ショップ事業

ひろば利用者はもちろん、中高年層や外国籍の母親などショップを通じての交流が生まれ、地域で子育てを見守る関係を作り出す一歩となった。

3. イベント事業:ひなまつりイベント

たくさんの家族連れやお年寄りなどが商店街に訪れて賑わい、用意した食べ物もあっという間に売り切れるなど盛況であった。スタンプラリーの対象店舗に初めて訪れたという親子も多く、個店の認知度アップにもつながった。

(全体効果)

1. 商店街の活気

「まんま」の利用者が増えるにつれて商店街で今まで見かけなかった若い世代の利用者が増え、商店街に活気が生まれた。

2. 近隣個店への波及

利用者が近隣の商店街で買物をする機会が増えた。

3. 近隣商店街への波及

地域通貨等について、近隣の商店街と共同企画等の話し合いをするなど拡がりを見せた。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

1. 事業費の確保

人件費をはじめとした事業費の確保が重要課題である。長く事業を継続させていくためにも、きちんと事業費を確保し、スタッフにとって安定した仕事としていきたい。

2. 人的体制の確立

スタッフを安定的に確保する必要がある。専従者以外にも継続的にスタッフとしてかわる人員を増やしていきたい。

3. PR

事業が始まって間もないこともあり認知度が低いが、人手不足のため思うような広報活動ができていない。利用会員の増加を図るためというだけでなく、このような居場所の必要性を訴える意味でも、今後の広報活動は重要である。

4. 商店街との連携

子育て中の親子に合ったメニューや品揃えの工夫、地域通貨の利用店舗の拡大など、商店街と連携した事業をさらに進めていく必要がある。

【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

幼い子どものいる親子連れを対象に事業を実施する場合には、周囲の環境、安全性、利便性を考慮して立地を選定することが大切である。

【 関 連 U R L 】

親子の広場「まんま」&ふれあいショップまんま <http://www.h7.dion.ne.jp/~manma>